

「#(ハッシュタグ)」とは、SNS等で特定のテーマについて検索して一覧表示する機能のことです。大分県内の農林水産業の中から選りすぐりの話題を大分県拠点からお届けします。

大分☆農・カーボンプロジェクト

第7回勉強会を開催します！

令和5年7月5日（水）
大分県拠点

第7回勉強会は、「有機農業の先進地宮崎県綾町の取組から学ぼう！」をテーマに開催します。宮崎県綾町は、全国で初となる「自然生態系農業の推進に関する条例」を制定し、環境保全型農業を推進。自然生態系農業の基準を設け、製品のラベル表示を実施し、有機質肥料の生産施設や農産品・農産加工品の販売所を設置。毎年、生産者と消費者の交流を目的に「有機農業推進大会」を開催しておられます。

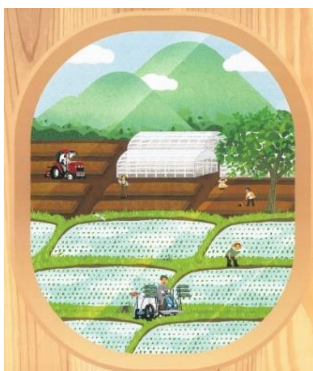
今回の学習会は、綾町の自然生態系農業の推進について講演をいただき、大分県の有機農業の推進や消費者対策などについて、生産者、事業者、消費者、行政機関などで意見交換を行う予定です。



日時：令和5年7月5日（水）
13：30～16：00
場所：九州農政局大分県拠点

- ・基調講演
「綾町の自然生態系農業推進の取組」について
講師：綾町役場農林振興課
有機農業推進係長 小八重 志保氏
- ・意見交換（ワールドカフェ）
テーマ：環境にやさしいエシカルな消費者を広げるためには

この項目のイラストは綾町の「有機農業開発センター」のパンフレットから転載させていただきました。



「大分☆農・カーボンプロジェクト」とは？

農林水産省が提唱している「みどりの食料システム戦略」を受けて、令和3年12月の第1回勉強会でスタートした大分の農林水産分野におけるカーボンニュートラルのプラットフォームです。農林水産分野以外の方からもご意見をいただきながら定期的な勉強会を中心に意見交換などを行っています。



これまで6回開催した勉強会の概要は、大分県拠点のHPでご覧になれます。



農業者等との意見交換

大分県拠点では「現場と農政を結ぶ」ことを目的に生産者・事業者との意見交換等を実施しています。ここでは、その一部をご紹介します。

農業を通して

「仕事の楽しさ・役割・やりがい」を

高田みづほ園（豊後高田市）
令和5年5月9日



当園は、就労継続支援B型事業所です。事業の一環として、白ねぎや落花生の生産・加工・販売をしています。利用される方の能力・特性に合わせた作業で、知識や能力の向上を目指す農福連携の取り組みを行っています。

当園では、生産者が減少し、「幻の落花生」と呼ばれるようになっていた落花生を自社生産のほか、地元農家と契約し直接買い取り、豊後高田市全体の生産も支えています。ミネラル分が多い砂地の干拓地で栽培する落花生は、味が濃く、風味の豊かさが特徴です。



色鮮やかな春の花「スイートピー」

岩男俊紀（豊後高田市）
令和5年3月17日



スイートピーは淡い色合いと優しい香りで主に11月～3月に出荷されます。花言葉は「門出」や「優しい思い出」などのため、卒業や転職などお別れの時に「門出」を祝う花として贈られています。気温や日照に影響を受けやすい繊細な花なので、日照の確保や土づくりにこだわり、作業の省力化・効率化を目指しています。

（岩男さんは、令和5年1月の「第65回大分県花き展」で農林水産大臣賞を受賞されました。）



陶山地方参事官就任の挨拶

「#」をご覧の皆さん、はじめまして。
この4月に赴任しました大分県担当地方参事官の「陶山 善広（すやま よしひろ）」です。

私たち大分県拠点は、農林水産省の出先機関として、現場の最前線で皆様のご意見・要望や事業・食生活などで困っていることに耳を傾け、皆さんの声を農林水産省に届け、皆さんと共に問題解決するために業務を行っております。

このため、①現場の皆さんと農林水産省（九州農政局）をつなぐ、②現場の皆さんの声を汲み上げる、③現場の皆さんと共に解決するをスローガンに掲げています。

いろいろな方との意見交換等を通じて情報を集めておりますので、皆様ご協力をお願いします。

福岡県出身です。
大分は7都府県目の赴任地になります。
よろしくお願いします。

